

めぐろニュース



目黒に 新ゆるキャラ デビュー!

目黒に新しいキャラクターがデビューしました。その名も黒猫の「スマにゃん」。目黒区商店街振興組合連合会が生んだこの猫ちゃんは、今後各種イベントに続々登場が決まっています。今までのゆるキャラとはひと味違います！クール系、おちゃめ、いじわるっぽい(!?)など、寄せられる感想もちょっと異色。その分大ブレークするオーラを感じます。目黒のどこかの街角で出会ったら、友達に自慢して盛り上げて下さい！

ボクたちも応援してるよ！



目黒区友好都市
宮城県角田市
ひかりちゃん☆



目黒区特別住民
自由が丘ホイップるん



目黒区友好都市
宮城県気仙沼市
ホヤぼーや

目黒区商店街振興組合連合会
スマにゃん

記念日を寿ぐ 目黒で慶ぶ

目黒雅叙園

記念日/婚礼/宿泊/宴会・セミナー/レストラン/文化財見学

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1
TEL 03-3491-4111 (代表)

目黒雅叙園 検索 目黒駅から徒歩 3 分



中国料理 香港園



目黒駅より徒歩1分、大通りから少し入った静かな佇まいの創業60年の老舗。単品料理やセットメニューも充実しており、本格中華をリーズナブルにお召し上がりいただけます。

<http://www.hongkongen.com/>

目黒区下目黒 1-8-8
TEL 03-3491-1641 / FAX 03-3493-2641
営業時間：AM11:30～PM10:00
ラストオーダー PM9:30 年中無休

めぐろ EYE's

Vol.09



編集・発行
めぐろ観光まちづくり協会

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 2-1-3 中目黒 GT 地下 1 階
TEL 03(5722)5850 FAX 03(5722)6891 E-mail: staff@meguro-kanko.com
<http://www.meguro-kanko.com>

もてなし、もてなされて
楽しむ、ここちと活動

めぐろ EYE's Vol.09



山手七福神をめぐろ



めぐろ観光まちづくり協会
Meguro Tourism Association

地域歴史探訪



岩窟の奥に祀られている蟠龍寺の弁財天。

今回のテーマ

江戸の庶民もこぞって歩いた

山手七福神をめぐる

「七福神」は、7つの福の神を祀る寺社をまわりご利益を授かる日本独自の信仰です。室町時代の中頃に成立し、江戸後期には庶民の間で盛んになりました。

日本各地に七福神はありますが、目黒区から港区の目黒通り周辺にある山手七福神は、『東都歳時記』（天保9年（1838）刊行）にもすでに記述がある歴史ある七福神です。多くの七福神めぐりはお正月時期のものとされていますが、山手七福神は江戸の頃から1年を通じてめぐることができるというのも特徴のひとつです。周辺の史跡にも足を運びつつ山手七福神巡りにでかけましょう。



大円寺の大黒天は徳川家康がモデルだといわれる。



御朱印はどのお寺も その場で手書き

七福神を巡る際に集めたいのが「御朱印」。押印と寺社名やご本尊の名前を墨書でしたためたもので1セット。近年では墨書の部分は複写や予め書いた別紙を渡される場合が多いのですが、山手七福神では参拝者一人一人と顔を合わせた後に心をこめて書いてくださいます。



おみくじ付きの 七福神ダルマがある

各寺では七福神のミニダルマを授かることができます。手のひらに乗るサイズのかわいいミニダルマの中には、なんとおみくじが！。もれなく巡って7つ集めたり、これと決めた七福神のダルマで将来を占ったり楽しみ方はいろいろです。七福神ダルマ1個（500円）。

山の手七福神の 5トリビア

お正月はすべての お寺でご開帳

1年中巡ることができる山手七福神ですが、毎年1/1～1/7には、すべての七福神がご開帳されます。七福神信仰では、元旦から初夢を見る前（1/2）までに七福神を巡ると吉夢をみられるとか、1/7までに巡ると縁起がよい、などといわれています。やはりお正月は特別です。

巡り方でご利益も 変わってくる！？

山手七福神では、商売繁盛祈願の場合は目黒区側の、目黒不動、蟠龍寺、大円寺の方から先に巡り、無病息災や長寿祈願の場合は港区側の覚林寺、瑞聖寺、妙円寺の方から先に巡るとよいといわれています。

行楽としても 楽しみな 山手七福神



江戸の頃、山手七福神のルートは大変起伏に富み、富士見坂、品川の海などが望める絶好の行楽スポットがありました。3代將軍家光が鷹狩りの際に使ったルートであったともいわれており、それが江戸の庶民の山手七福神人気にさらに拍車をかけました。

目黒不動にある「鷹居の松」の子孫。
3代將軍徳川家光の行方不明の愛鷹が戻りまとったという。

恵比寿神 瀧泉寺(目黒不動)

恵比寿神は、商売繁盛・多幸をもたらす日本古来の民族神。目黒不動では、同じお堂に弁財天、大黒天も安置され「三福神」として祀られている。お堂の手前には、お参りの後にお金を洗うとご利益があるという湧水もあります。
目黒区下目黒3-20-26
☎03(3712)7549／6時～17時(御朱印授与9時～17時)

弁財天 蟠龍寺

祭神は弁財天。智慧・音楽・芸術の上達などにご利益がある技芸の神様。蟠龍寺では岩屋の中に安置されているため、岩屋弁天と呼ばれています。
目黒区下目黒3-4-4
☎03(3712)6559／9時～17時(御朱印授与9時～17時)

大黒天 大円寺

大黒天は五穀豊穡の神様。右手には、打ち出の小槌を持っています。財産を守り増やすご利益があるとされ、大円寺では様々なお守りも人気です。
目黒区下目黒1-8-5
☎03(3491)2793／6時～17時(御朱印授与10時～17時)



「七福神めぐり」道中のみどころ

1 海福寺

元は深川のお寺で、永代橋が落ちた江戸の有名な事件の供養塔や、珍しい梵鐘もあります。
目黒区下目黒3-20-9
☎03(3712)5616／常時開門

2 成就院(たこ薬師)

「たこ薬師」として地域に親しまれる薬師如来様。悪いところをなでれば治る「おなで石」が売られています。
目黒区下目黒3-11-11
☎03(3712)8942／9時～17時

3 五百羅漢寺

1体ごとに表情も仕草も違い、限りなく人に近い姿で今にも動き出しそうな羅漢様の群像は圧巻。
目黒区下目黒3-20-11
☎03(3792)6751／9時～17時(受付16時半迄)／拝観料大人300円



4 にしむら

目黒不動門前の歴史あるうなぎ屋さん。備長炭で焼き上げている蒲焼きの香りが参拝者を誘います。
目黒区下目黒3-13-10
☎03(3713)6548／11時～14時(店頭販売10時～19時) 水休

5 大鳥神社

11月の酉の市には、熊手を求める参拝客で境内が賑わいます。
目黒区下目黒3-1-2
☎03(3494)0543／常時開門

6 名物「目黒仁王餅」

山手通りの「御菓子司 玉川屋」。3代目が目黒不動に仁王様を寄贈したことにちなんだ名物。最上級のわらび粉を使用した銘菓です。
目黒区目黒2-10-14/
☎03(3491)0555／9時～19時 無休



7 目黒川

桜の時期には川の両側が満開になる目黒屈指の桜の名所。

8 権之助坂

目黒駅前まで続く坂道は飲食店でぎっしり。



9 目黒雅叙園(百段階段)

百段階段は、昭和10年(1935)に建てられた目黒雅叙園で唯一現存する木造建築。99段の木造の階段廊下で結ばれた7つの部屋は、天井に至るまで装飾が施された豪華絢爛な世界です。
目黒区下目黒1-8-1
☎03(3491)4111／見学は催し物や見学ツアーにて限定公開

10 太鼓橋

かつては石造りの橋で、名所江戸百景などにも描かれています。



11 行人坂

江戸中期の明和9年(1772)、江戸の3大火のひとつ「目黒行人坂の大火」の火元となりました。



12 東京都庭園美術館

昭和8年(1933)築の朝香宮邸は現在、東京都庭園美術館に。アール・デコ様式を用いた優雅な建物は一見の価値があります。
港区白金台5-21-9
☎03(3443)0201／改修工事のため閉館中。2014年秋再オープン予定

13 日吉坂

能役者の日吉喜兵衛が住んでいたためと伝わります。

14 江戸の頃からあるシイの大木

幹の周囲7.4mのシイの木。江戸時代の大名屋敷内にあったものが、戦災や開発を乗り越えて今も葉を茂らせます。
港区高輪1-16-25 高輪地区総合支所横

15 16人忠烈の跡

赤穂浪士のうち、大石内蔵助ら17人が預けられ、元禄16年(1703)この場所で切腹を言い渡されました。
港区高輪1-16-25／見学は外からのみ

4

奉拝
目黒
龍泉寺

恵比寿神
龍泉寺
(目黒不動尊)




恵比寿さま



マップ
1

開基は大同3年(808)、慈覚大師の創建と伝えられる関東最古の不動霊場。江戸時代には五色不動のひとつ「目黒のお不動さん」として将軍家始め庶民の厚い信仰を集め、江戸近郊随一の参詣行楽の名所となりました。境内には開創以来湧き落ちる「独鈷の滝」、貴重な文化財「前不動堂」や「勢至堂」、裏の墓地にはさつまいもの普及に努めた甘藷先生こと「青木昆陽」の墓などがあります。

七福神の おわす六つの 寺院



奉拝
目黒
蟠龍寺

弁財天
蟠龍寺
(岩屋弁天)




岩窟入口
おしろい地藏



マップ
2

増上寺の高僧霊雲上人が宝永6年(1709)、行人坂下にあった称明院を現在地に移し改名再建。木造阿弥陀如来坐像(都文化財)は平安時代末の名作です。二体ある弁財天のうちの石像は岩窟内に安置され、岩屋弁財天として知られています。境内にある池の端には、「おしろい地藏」と呼ばれる地藏が立ち、その顔におしろいを塗り、残りを自分の顔に塗ると美人になるといわれ、歌舞伎役者などの信仰を集めました。

江戸初期の元和年間、滝本院日忍が妙見大菩薩像を奉じて開創。像は比叡山遊学中の日蓮聖人により感得され、伝教大師の作と伝えられます。後に足利尊氏に帰し、足利十三代將軍義輝の時、日忍の父に下されたもの。妙見大菩薩ともいって北極星を神格化、北斗七星をも含み、奈良時代から信仰されています。寺では古くから悪星退散、除災求福を祈る「星祭」が行われ、「白金の妙見さま」と親しまれています。





奉納の額

福祿寿尊・寿老人尊
妙円寺

奉拝
目黒
妙円寺



マップ
4

寛文10年(1670)開山、江戸で初めての黄檗宗寺院として建立。黄檗宗は中国僧隠元により開かれた禅宗の一派で、寺院は数少ない特殊な建築です。この寺は当初、中国明時代の禅寺にならう伽藍を備えていましたが、現在は江戸中期再建と推測される雄大な姿の大雄宝殿(国重要文化財)が残っています。本尊釈迦如来像と、両脇侍の阿難・迦葉像もまた明の様式を伝える大変珍しい仏像です。





布袋様

布袋尊
瑞聖寺

招福
目黒
瑞聖寺



マップ
5

奉拝
目黒
大円寺

大黒天
大円寺






マップ
3

江戸初期の元和年間頃、奥州湯殿山の修験僧が祈願道場を開いたのが寺の始まり。多くの行者が往来し、門前の急坂は「行人坂」と呼ばれるようになりました。江戸三大大火のひとつ、行人坂大火(江戸中期明和9年)の火元はこのお寺であったと言われています。大江戸のおよそ三分の一を燃やし尽した大火の犠牲となった人々の供養のために造られた五百羅漢像が、今も境内に並んでいます。

これまでも多くの参拝者を迎えてきた山手七福神のおわす寺院。そこに積み重なってきた歴史。時代的一端に生きた人々の物語。そういうものが宿る境内へ。

豊臣秀吉の家臣で、優れた武将として名高い加藤清正を祀り、江戸時代から「白金の清正公(せいしょうこう)さま」として親しまれています。寛永8年(1631)、清正に厚い恩義を感じる日延上人が開創。毎年5月4～5日に行われる清正公大祭にはこの両日に限り葉菖蒲の入った「勝守」を授与。武運の強かった清正にあやかり「人生の苦悩に打ち勝つ」というお守りとして人気で、大祭はたくさんの方で賑わいます。





毘沙門天
覚林寺

奉拝
目黒
覚林寺



マップ
6